

# 6. vi エディタ

## 6.1 vi の基本操作

- vi はページャであり，エディタでもある.
- vi でファイルを開いた場合のモード
  - コマンドモード
    - ページングによる行やページ単位の移動
    - 行の削除，コピー，カット，ペーストなどの編集操作
  - インサートモード
    - 文字入力を受け付ける

### ファイルを開く

書式:

```
vi [ファイル名]
```

### ファイルを閉じる

Esc キーを押した後， :q と入力する (q は quit の略).

### ファイルを保存する

Esc キーを押した後， :w と入力する (w は write の略).

ファイルに変更内容が書き込まれて編集作業を継続できる.

### ファイルを保存して終了する

Esc キーを押した後， :wq と入力する.

w によって変更内容が書き込まれ， q によってファイルを閉じる.

### ファイルを保存せずに強制的に閉じる

Esc キーを押した後， :q! と入力する.

通常，編集済のファイルはそのままでは閉じることができないが， ! をつけることで保存せずに強制的に終了できる.

## 6.2 インサートモードとコマンドモード

vi エディタを起動すると、コマンドモード (コマンドを入力するモード) でファイルが開かれる。文字列を打ち込むにはインサートモードに切り替える必要がある。切り替えるには **i** コマンド または **a** コマンドを使う。

**vi** コマンドはスクリーンエディタと呼ばれ、基本的にカーソルがある位置に対してコマンドを実行する。

### テキストの入力

#### **i** コマンド

カーソルがある位置 (文字の前) にテキストを入力する (insert).

実行例:

```
ai@ai-VirtualBox:~/Documents/6_vi_workspace$ cat test.txt
Apple
ai@ai-VirtualBox:~/Documents/6_vi_workspace$ vi test.txt

ai@ai-VirtualBox:~/Documents/6_vi_workspace$ cat test.txt
Appl_inserttest_e
```

カーソルが Apple の e にあると、その前にテキストが入力される。

#### **a** コマンド

カーソルがある文字の後にテキストを入力する (append).

実行例:

```
ai@ai-VirtualBox:~/Documents/6_vi_workspace$ cat test.txt
Appl_inserttest_e
ai@ai-VirtualBox:~/Documents/6_vi_workspace$ vi test.txt

ai@ai-VirtualBox:~/Documents/6_vi_workspace$ cat test.txt
Appl_inserttest_e_appendtest_
```

カーソルが最後の文字にあると、その後にテキストが入力される。

#### **I** コマンド

行の先頭にテキストを入力する。

実行例:

```
ai@ai-VirtualBox:~/Documents/6_vi_workspace$ cat test.txt
Appl_inserttest_e_appendtest_
ai@ai-VirtualBox:~/Documents/6_vi_workspace$ vi test.txt
1L, 41C written
ai@ai-VirtualBox:~/Documents/6_vi_workspace$ cat test.txt
Inserttest_Appl_inserttest_e_appendtest_
```

行の先頭にテキストが挿入される.

## A コマンド

行の末尾にテキストを追加する.

実行例:

```
ai@ai-VirtualBox:~/Documents/6_vi_workspace$ cat test.txt
Inserttest_Appl_inserttest_e_appendtest_
ai@ai-VirtualBox:~/Documents/6_vi_workspace$ vi test.txt
1L, 51C written
ai@ai-VirtualBox:~/Documents/6_vi_workspace$ cat test.txt
Inserttest_Appl_inserttest_e_appendtest_Appendtest
```

## 文字の削除

文字を間違えたときは, Delete や BackSpace でカーソルの前の1文字が削除できる.  
動作は使う環境によって変わる.

# カーソルの移動

## カーソルの左右移動

h コマンドでカーソルを左に移動. l コマンドでカーソルを右に移動.  
Ubuntu 20 や CentOS 7 で利用できる vi コマンドでは, カーソルキーの左右を用いてカーソルの左右移動ができる.

## カーソルの上下移動

j コマンドで下に移動. k コマンドで上に移動.  
Ubuntu 20 や CentOS 7 で利用できる vi コマンドでは, カーソルキーの上下を用いてカーソルの上下移動ができる.

## 行頭への移動

0 コマンドを実行すると, 現在の行の行頭へ移動することができる.

## 行末への移動

\$ コマンドを実行すると、現在の行の行末へ移動することができる。

## 6.3 編集集中の大きな移動

### ページ単位の移動

`ctrl + f` コマンド で次のページに移動. `ctrl + b` で前のページに移動.

### 行を指定した移動

#### 行番号を指定した移動

`:10` で 10 行目に移動.

#### コマンドを使った文書頭への移動

`gg` コマンドで文書頭に移動.

#### コマンドを使った文書末への移動

`G` コマンドで文書末に移動.

## 6.4 さまざまな編集操作

### 文字のカット・アンド・ペースト

文字をカットするコマンドと、カットした文字をペーストするコマンドを使う。

カット・アンド・ペーストで使うコマンド:

コマンド	内容
x	1文字削除
dd	1行削除
yy	1行コピー
n yy	n行コピー
p	カーソルの文字の次または次の行にペースト
P	カーソルの文字の前または前の行にペースト
u	カット、ペーストを1回取り消し (アンドウ)

x コマンドで削除した最後の文字はバッファに入るので、p または P でペーストできる。

### 行のカット・アンド・ペースト

dd コマンドで削除したテキストはバッファに入る。

p コマンドの場合、カットした文字列がカーソルの下にペーストされる。

P コマンドの場合、カットした文字列がカーソルの上にペーストされる。

### 行のコピー・アンド・ペースト

yy コマンドで行全体をコピーすると、文字列はバッファに入る。バッファ内のテキストは p コマンドまたは P コマンドでペーストできる。

現在の行から下の複数行をコピーしたいときは、コピーしたい行数を yy コマンドの前に記述する。

### 編集の取り消し (アンドウ)

vi エディタでは、全ての編集操作について、u コマンドでそれを取り消すことができる (undo)。

# 6.5 置換と検索

検索と置換に関するコマンド:

コマンド	内容
/検索文字列	文字列の検索
n	下方向へ再検索
N	上方向へ再検索
:対象の行s/検索文字列/置換文字列/オプション	文字列を置換する

## 文字列の検索

書式:

/文字列

n コマンドで1つ次の文字列を再検索， N コマンドで1つ前の文字列を再検索，押した回数だけ再検索される。

文字列を検索すると，検索した文字列がハイライト表示される。ハイライトは次の文字列を検索するまで残る。ハイライトを消すには， :nohlsearch コマンドを実行する。

## 文字列の置換

置換方法の指定:

コマンド	内容
: n s/old/new	n 行目の最初の old を new に置換して終了
: n s/old/new/g	n 行目の全ての old を new に置換して終了
:%s/old/new/g	ファイル全体の検索語句を置換する
:%s/old/new/gc	置換のたびに確認を求める